YAMANOUCHI TOWN COUNCIL
議会だより

第107号
平成29年１月25日
（2017）
発　行　山ノ内町議会
責任者　議長 小渕茂昭
編　集　広報常任委員会

〒381-0498 長野県下高井郡
山ノ内町大字平穏3352-1
☎0269-33-1101 ㈲2020
E-mail
gikai@town.yamanouchi.nagano.jp

議会ホームページと
議会フェイスブックは
町ホームページからアクセス

もくじ

新年のごあいさつ……14
12月議会定例会……14
一般質問……16
みなさんからの請願・陳情……21
管外視察……22
全員協議会……24
みんなのひろば・編集後記……25

新年のごあいさつ

山ノ内町議会議長　**小渕茂昭**

皆様におかれましては、初春を夢と希望、さらには、ご家族の幸せを願ってお迎えのことと拝察し、心よりお慶び申し上げます。

旧年中は町議会に対し、多大なるご支援とご理解を賜り、円滑な議会運営が出来ましたことに厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年11月町内４小学校の６年生全員のご参加をいただき、「山ノ内町子ども議会」が開催されました。過去には平成７年に町制施行40周年にあたり、記念事業として「一日こども議会」が開催された経過がありますがそれ以来の開催であります。当日は教育委員をはじめ各議員も傍聴に訪れ、子どもたちの町を想う気持ちにふれ、大いに感動させられました。

当議会でも、子ども議会開催の過程において、町政や町議会の仕組みについて学習を通し、子どものうちから町政や地域に関心を持たせ、将来について考えることに適している仕組みと考え、関係各位に開催のご依頼を申し上げてまいりました。関係者の皆様には改めて感謝申し上げ、今後も引き続きの開催をお願い申し上げます。

毎年開催しております議会報告会も本年は第10回を迎えます。地域の声を拝聴し、開かれた議会構築を更に進め、議会の責務に邁進して参る所存であります。多くの皆様のご参加をお願い申し上げます。

皆様の益々のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、新年の挨拶と致します。

平成28年第４回定例会

水道・下水道料金値上げを可決

奥志賀牧場36年間の歴史に幕

平成28年第４回町議会定例会は、11月28日から12月９日までの12日間にわたって開催され、町側から専決処分の報告１件、買取契約の締結１件、一般会計ほか５特別会計ならびに事業会計１件の補正予算７件、条例の一部改正８件、条例の廃止１件が提案されました。

議会側から、条例の一部改正１件、意見書１件を提案しました。審議・採決の結果、一般職の職員給与、特別職の給与条例、議員の期末手当に関する条例の一部改正およびそれに関する補正予算は賛成多数、他の案件は全会一致で受理・可決しました。陳情については、義務教育費国庫負担制度の堅持を求める陳情書１件を採択し、それにともなう意見書の提出を可決しました。

11月30日、12月１日、２日の一般質問には11人が登壇し、農業振興、観光振興、産業振興、教育、移住定住、防災など多岐にわたる課題をただしました。

教育費に重点

一般会計補正予算（第３号）

歳入歳出６，９７０万円を追加し、総額68億５，１００万円となります。

新規事業で保護者負担軽減のため小中学校卒業祝い金として今定例会の補正となりました。北・西小学校統合関連の予算も計上されています。

歳入の主なもの

教育費国庫補助金　東小学校大規模改修費　５５０万円
前年度繰越金　２億６，２００万円
財政調整基金繰入金　△２億１，３００万円
町債　小学校施設整備事業債　１，２００万円
西小学校児童クラブ関連　５７０万円
地獄谷遊歩道緊急整備　５０万円
小中学校卒業祝い金　５３０万円
北小学校体育館設計監理委託料　２７０万円
東小学校トイレ改修・西小学校スクールバス駐車場整備　１，７６０万円

歳出の主なもの

若者定住促進マイホーム取得等補助金　５４０万円

条例の一部改正

一般職の職員の給与に関する条例・特別職の職員の給与に関する条例

人事院勧告による。

税条例

所得税法、地方税法など上位法の一部改正による。

国民健康保険税条例

所得税法の一部改正による。

公共下水道管理条例

10㎥まで１，５０２円を１，６３７円
10㎥から50㎥まで１㎥あたり１６３円を１７６円にするなど、約7.3％の値上げになります。29年７月徴収分から適用されます。

町営水道条例

水需要に応じて施設整備をしてきた経緯があります。基金が最大10億円あったものが現在1億円になってきました。国からは企業会計化を求められています。将来に禍根を残したくないなどの理由により、29年6月から約10・84％の値上げになります。

手数料徴収条例

コンビニ交付が可能になり、それに合わせて、1件につき複数枚でも300円となります。

条例の廃止

奥志賀牧場の設置及び管理に関する条例を廃止する条例

昭和55年より36年間にわたり、使用されてきましたが、近年放牧頭数の減少などにより廃止となりました。

かつての奥志賀高原牧場

印鑑の登録及び証明に関する条例

1月10日よりマイナンバーカードで、コンビニの多機能端末機により交付することが可能となります。

発委第5号　議会の議員の期末手当に関する条例

人事院勧告により、年0.1ケ月引上げるものです。

議員発議

「地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書の提出について」

賛成多数で可決しました。

討論

議会の議員の期末手当に関する条例の一部改正賛成討論

山本　光俊

地方分権一括法の施行後、町村議会議員の職務量が増大し、定数削減もその一つとなっている。さらに現状報酬では、住民の多種多様な層から議員の選出が難しく、生活給的要素も勘案する必要がある。昨今の町村議会議員選挙では無投票当選や定員割れも見受けられ、議員の成り手不足が問題となっている。幅広い年代層や多業種の方が議会議員として参画できるより良い環境を整えるために有効な手段であることから本案に賛成し討論とする。

一般会計補正予算反対討論

髙田　佳久

補正予算にある卒業祝い金は、後期基本計画（5か年）や実施計画（3か年）に明記がなく、ましてや当初予算での計上もなく、補正対応では計画性がない。公平性の観点でも卒業生のみと偏りが大きく、事業を実施した場合、子育て支援に使用されたか分からず、有効性に疑問が残る。保護者の経済的負担の軽減は、計画性・公平性・有効性を考慮した政策を実施すべきと判断し、補正予算は反対。

奥志賀牧場の設置及び管理に関する条例廃止賛成討論

児玉　信治

昭和55年に整備完了し供用開始された牧場は、平成9年に一般開放され、多くの観光客の来場があった。また、放牧頭数のピークは56頭であったが、以降は酪農家の減少とともに放牧頭数も減少したため、廃止はやむを得ない。しかしながら、貴重な観光スポットでもあり、継承希望者がいると聞いており、今後の観光・酪農支援策に対し、寛大な取り組みを申し述べ、賛成討論とする。

公共下水道管理条例の一部改正反対討論

渡辺　正男

公共下水道と農集排事業の使用料7.3％値上げ改定で1，442万円の利用者負担増となる。審議会答申には「使用料収入の減少が続き、一般会計からの繰入金に頼らざるを得ないのが実状」となっているが、そもそも使用料で賄うべき資本回収費が明らかでなく、都市計画税廃止との整合性も疑われる。せっかくの年長児保育料無料化、小中学校生卒業祝い金支給にも水を差すものであり反対する。

町営水道条例の一部改正反対討論

山本　良一

水道料が多年にわたり改正されず施設の老朽化による補修と更新に多額の費用が予想されるなかで提案されたものだが、南部・東部浄水場の改修計画決定の際いかなる財政計画がなされていたかに疑問を感じ反対する。特に従量料金の累進制度についての今議会での答弁では根拠に乏しく納得できない。付け焼刃的な料金改定ではなく水道事業そのものの将来のあり方を見据えた経営計画策定が先だ。

手数料徴収条例の一部改正賛成討論

布施谷裕泉

これまでは役場で住民票の写しを申請する場合、家族構成が6人以上では枚数が2枚必要となり手数料も2倍になっていた。家族が増えればそれを証明するにもお金がかかっていたということだが、しかしこれは著しく公平性を欠いた手数料徴収条例といわざるを得ない。近隣自治体にもこういった事例はないということであり、遅きに失した感はありながら、本来の形に戻す条例改正に賛成する。

印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正反対討論

渡辺　正男

マイナンバーは、住基ネットとは比較にならない大量の個人情報を蓄積し、税・医療・年金・福祉・介護・労働保険・災害補償などあらゆる分野の情報を、一つの番号に紐づけしていくことになる。情報が多いほど、詐欺やなりすましなどの犯罪に利用される恐れも高まる。制度が続く限り、一部の企業が「IT特需」にわき、癒着する官僚・政治家が甘い汁を吸う一方、国民には負担がのしかかり続ける。

決算・予算審査における部会意見の反映を

髙田佳久

町長　住民要望や決算・予算審査意見をできるだけ尊重し、予算編成や事業執行に心がけたい。

質問　**部会意見に対する回答書を提出する考えは。**

町長　文書での回答は考えていない。

質問　**土木費で空家対策条例は速やかに策定することに対する取り組みは。**

建設水道課長　条例制定は、整理すべき事項が多岐に渡るため、本年度中の策定はできない。

質問　**空家等対策担当者会議など空家対策に対応できる体制を早急に構築する考えは。**

建設水道課長　必要性は重々感じているが、空家を増やさないという観点で、庁舎内の組織を構築していくため、早急には立ち上げることはできない。

質問　**空家等の所有者や周辺住民からの相談体制の整備は。**

建設水道課長　総合的な窓口に関しては、一本化されていない。

質問　**金安地域では蜂の巣・外壁のタイル等の落下など実例が出ているので、空家対策条例ができるまでの間の対応を。**

町長　できるだけ速やかに副町長を中心にしながら、庁内各課と連携し、対応したい。

質問　**教育費で社会体育施設の整備計画は、公共施設整備等検討会議において年度内に具体的な方向性を示すことに対する取り組みは。**

教育長　スポーツ推進計画の策定に当たり行う住民アンケートを参考にし、後期基本計画の中で具体的な検討をしていく。

27年度決算審査特別委員会

3小1校統合案はいつどこで決まったのか

山本良一

質問　**3小1校統合案と、中学校敷地内に統合小学校を設置する計画はいつどこで決まり、どなたの発想か。**

教育長　小学校適正規模適正配置審議会答申を踏まえ教育委員会として適正配置の方針から1校統合を目標とした。小中連携教育がしやすいよう中学校を活用し敷地内に小学校校舎を増築するとして昨年総合教育会議に示し了承を得られたものだ。目標年度については財政状況地域の要望を踏まえ総合的に判断していく。

質問　**審議会の答申では具体的な方向がなく大まかだが原案は誰が考えたのか。**

教育長　審議会長が考えた。

質問　**一人で考えたのか。**

教育長　原案はそうだが、それを審議会の中で認めていただいたので審議会の総意と認識している。

質問　**委員長の原案に異議とか意見はなかったのか。**

教育長　なかった。

質問　**極めて理解に苦しむが、答申に中学校付近にという形がない理由は。**

教育長　わからない。答申には「できるだけ早く1校統合」という形はあるが、特に場所については審議会の中で検討されたということはない。

質問　**設置に向けた調査はすんだか。**

教育長　中学校敷地内の基礎的な調査はコンサルに委託し報告は来ている。今後多方面から内容を検討する。

質問　**計画は中学生に現在より良い環境を与えるか。**

教育長　小学校同居となれば部分的に窮屈な状況となるが教育課程の環境の変化が少なくて良い面もあるのではないか。

山ノ内中学校正面玄関前の現状は職員駐車場、2列20台。統合後は何台になるのか。

稼げる観光地の実現策を

小林民夫

質問　スキー場に行ったら本当にスキーしかやることがなかった、こういうスキー場に魅力を感ずるか。

町長　志賀・北志賀では荒天でスキー不能の際にはスノーモンキーとか小布施見物を考えている。また、旅行会社では九州からの修学旅行にスキーの後でディズニーランドに立ち寄るプランを付け足している。

質問　今、国会ではカジノ法案が取り沙汰されている。統合型リゾート施設整備推進法案が正式名とのことだ。これはカジノという強い誘客力のある施設を核として周辺に有機的関係をもつ諸施設を整備し長期滞在に耐える観光・行楽地域を作ることを本旨とするという。この核になるものを温泉とかスキー場に置き換えて考えても良いと思う。核を温泉とした場合、それ以外のものと結びつけて相互の魅力を高め合う方策は効果的だと思う。ひとつの提案をしたい。町の楓の湯にライブハウスを併設して温泉と音楽の両方を楽しめるようにしたらどうか。

町長　湯布院ではそういう施設が併設されている。楓の湯では土地がないのでミニコンサートがやっとだ。暖かい時期なら石段がステージになるかも知れない。希望があれば楓の湯とか公社に連絡して使ってもらいたい。また観光連盟とも考えてみたい。

質問　なかなか難しいようなのでひとつレベルを下げた提案をする。駅に誰でも弾いてよいピアノを置いたらどうか。

町長　検討させて欲しい。

楓の湯にプラスワンの魅力を

スポーツ・文化・芸術の人材育成にどう取り組むか

渡辺正男

町長　志賀高原ではオリンピック・ワールドカップなどの国際大会が開催され、町出身選手も各地の国際大会に出場している。これは地の利を生かし幼少期からのスキー振興に関係者とともに取り組んだ成果と思う。子どもたちがスポーツ・文化・芸術に取り組み、優秀な成績を収めて、専念できるよう関係団体と協議しともに支援していきたい。

教育長　スポーツ関係では町体協とジュニアスキー連絡協議会に委託し事業実施している。またＳＡＪ指定選手の海外遠征補助を志賀高原スキークラブとともに行い、各学校スキー部への補助も行っている。

質問　選手の親御さんの負担は大変なものと聞く。平昌五輪や北京五輪に町から選手を輩出するためにも、選手への支援・応援体制を拡充する方向で見直すべきと思うが、その財源についてはどう考えるか。

教育長　ふるさと寄附金の「夢・ワンパクこども応援貨」は子どもたちの教育やスポーツ振興も用途としているのでこの活用も一つ。

質問　私もこの活用がふさわしいと思う。27年度だけでも3，592万円、累積で約4，000万円ある。ご寄附いただいた人たちもそれを期待していると思う。来年度策定予定のスポーツ推進計画の中で選手の支援・応援体制の再構築を。

町長　県体協、県、他市町村の状況を踏まえ、また内部で検討してみたい。

質問　スポーツ以外の人材育成にもこのふるさと寄附金を活用してしっかり取り組んでいただきたい。

第44回志賀高原距離競技スキー大会
（平成28年３月26日）

国道４０３号の整備状況は

小林克彦

質問 **裏落合工区の工事は予定どおり完成するか。**

町長 12月9日予定の開通式には木島平側に若干残るが使用開始となる。

質問 **下須賀川地区の歩道延長と線形改良整備の状況は。**

建設水道課長 本年度は地形測量まで、工事着工は平成31年度の予定。

質問 **道沿い支障木の伐採等も実施され維持事業も進んでいる。一日も早い完成を目指していただきたい。**

建設水道課長 建設事務所に、早期完成を要望する。

質問 **産後うつへの対応はどのようか。**

健康福祉課長 妊娠届時の個別面談や出生届時にパンフレットの配布や質問票で心と体の不調について細やかな支援を実施している。

質問 **厚生労働省が来年度から実施予定の施策にどのように対応されるか。**

健康福祉課長 検診費用の半額を国が負担するものだが、産後ケア事業を実施している市町村に限られ、当町は対象にならない。

質問 **廃止が検討されているバス路線について、長電・中野市との三者協議の進み具合はどのようか。**

町長 年内には方向づけがされる予定である。

質問 **もし路線バスが廃止となった場合への、町の対応について、一部言及されているが。**

町長 住民のみなさんに不便はかけられないとは考えている。三者による検討会議の結果を踏まえて最終判断をしたい。

その他の質問

○行政サービスについて

○人口問題について

国道403号下須賀川地区歩道延長と線形の改良

中学校グランドの改良整備を

西　宗亮

中学校グランドの改良について

質問 **雨の翌日などグランドにたまった水を野球部の保護者と思われる方が一人で処理している姿をよく見かけるが、このような状況をどのように思うか。**

教育長 実際にそのような状況を見かけたことはないが、状況は聞いており、決して好ましいことではないと思う。

質問 **授業や部活動などで使っているグランドは学校施設でもあるはず。中学校長寿命化改修事業の計画にはグランドの改修も含めた計画で取り組むべきではないか。**

町長 学び舎の整備は国の方針であり、それを受けて国県の補助、有利な起債等を活用して進めていくものである。関係法律に年限もあり、当面、学び舎の整備を重要視して対応していくが、決してグランドを無視するということではない。

和田県営住宅について

質問 **和田県営住宅は老朽化にともない廃止する計画と聞くが、居住者への支援策が必要ではないか。**

建設水道課長 居住者への県の対応は存じていないが、入居者募集は停止していると承知している。

質問 **居住者は高齢の方が多く、退去や移転に不安と戸惑いを感じ、できれば移りたくないという声を聞くが、町民の不安を払拭し、より長く居られるように県へ働きかけるなど対策と支援が必要ではないか。**

町長 居住されている方々も山ノ内町民であり、主管課を通して配慮いただけるよう要望していきたい。

雨あがりの中学校グランドは水はけが悪く、改良・整備が望まれる。

信越自然郷とは

山本光俊

観光商工課長　信越９市町村連携会議が信越自然郷となりＤＭＯ構築や商品造成などを実施している。

質問　**この会議には当町から誰が出席しているのか。**

観光商工課長　観光商工課と観光連盟が出席している。

質問　**要望の確認や会議内容の伝達がないようだが。**

観光商工課長　細かくチェックはしていないが、伝達しているものと考えている。

質問　**パンフレット配布やイベント案内が唐突に行われている。中には理解できないものがあるが、出席者は承知の上で責任を持って決定しているのか。**

観光商工課長　会議で意見を言わなければ、そのまま決定してしまうこともある。

質問　**インバウンドをはじめ観光客のニーズは多様化している。ＤＭＯや広域連携事業などはますます重要度が増している中、地域の同意や要望に基づかない、出席者の主観で決定しないよう丁寧な対応を望む。**

地域おこし協力隊について

質問　**三年間の任期を終えたが総括はできているか。**

総務課長　まだ総括はできていないが、町長を交え話は聞かせていただいた。

質問　**役場の臨時職員のように扱うなど様々な問題点を全国で指摘されているが当町の対応は。**

総務課長　当町では特に問題はないと聞いている。

質問　**地域や各種団体などの要望を聞き、地域密着型で募集するべきでは。**

総務課長　先進地の状況などを研究しながら検討する。

その他の質問

○白根山入山規制について

地域おこし協力隊「失敗の本質」

竹やりによる突撃を
繰り返さないために

村楽
MERRY VILLAGE

KU LLP 2014 All Rights Reserved.

一般社団法人村楽の Facebook より
地域おこし協力隊 「失敗の本質」には様々な失敗例が…
隊員と地域の認識がすれ違わない努力が必要

住民の足・保育環境・生物多様性を守るための施策を

徳竹栄子

質問　**27年度の年間乗車人数は前年比１，０６４人減少29年度の一日平均輸送人数の見込みが15・3人、15人を切れば国・県補助金ゼロになる、どう考えるか。**

町長　地域住民、中野市、長電バスと協議し、公共交通検討委員会でも検討し、予算化も必要と考えている。

延長保育について

質問　**防犯・災害の緊急対応・施設管理等、臨時職員の方は重責で不安との事、児童の安全のためにも正職員の配置が必要と思うが。**

健康福祉課長　児童の安全のため適材適所の配置に努める。

質問　**保育料軽減で利用者増加の中人事体制、サービスの充実に対する考えは。**

町長　住民要望を聞き、改善する方向で対応して行く。

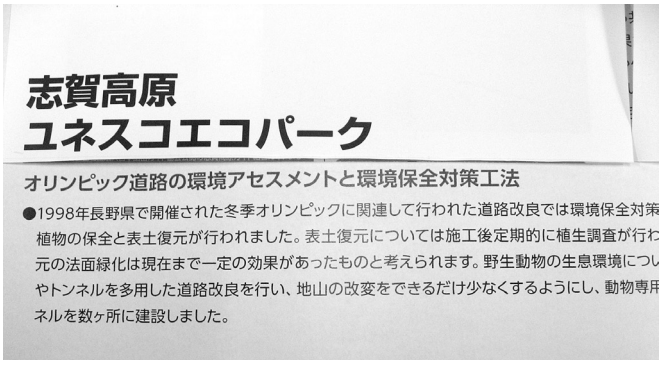
ＡＢＭＯＲＩ事業

質問　**20年前、志賀高原の緑化は地域に分布生育する植物で復元したとユネスコエコパークのパンフレットに明記されている。遺伝子の違う可能性のある他の地域の苗木一万本余を植樹する今の方法で自然の森が永年守られるか。**

農林課長　植生調査で生育できる樹種を選定している。

質問　**自然公園における生物多様性保全の重要性が高まる背景から遺伝子生態レベルに配慮し、児童育苗活動と合わせ固有の現地産の苗木の育苗を事業者に委託し植樹の苗木にすべきでは。**

農林課長　貴重な提案として受け止めます。苗木も安くなく承知をしているが専門家の意見も聞き進めている、理解を頂きたい。



生物多様性の考えはユネスコエコパークの根幹

食品ロス削減の取り組みを

望月貞明

町長　当町は宿泊施設が多い。料理の工夫などで食品の無駄をなくすことはごみ減量化になる。食品ロス削減が必要だ。

質問　**町の食品ロスの量はどのくらいか。**

健康福祉課長　可燃ごみの4割が生ごみ、その3割が食品ロスとされる。よって昨年度の食品ロスは約618トンと推計される。

質問　**削減目標設定や余った食品を福祉施設に届けるフードバンクの取り組みは。**

町長　皆さんの意見を聞きながら進めていきたい。

今後、地下熱の活用を

質問　**自然エネルギー活用推進と町の雪室の運営は。**

総務課長　太陽光発電32件に約382万円、温泉熱利用21件に約600万円の設置費用を助成した。雪室の運営状況は年約55万円の経費に対し利用収入は約7万円。

質問　**雪室が民間なら商業ベースにのらない。経費削減や高付加価値商品の開発が急務である。**

総務課長　経費削減は難しい。利用団体と連携し、高付加価値商品を研究したい。

質問　**温泉熱は利用地域が限定される。地下水利用の道路消雪施設や地下熱のヒートポンプは広範囲に設置できると思うがどうか。**

建設水道課長　地下水が入手できれば広く活用できる。

自動ブレーキ車購入補助は

質問　**高齢者の自動車事故防止に運転免許の返納が一番だが、返納したくても通院、買い物に必要でできない人もいる。これらの人を対象に、自動ブレーキ装着車の購入補助はどうか。**

健康福祉課長　国の動向などを見ながらの検討となる。

食品ロス削減が、ごみ焼却費削減につながる
（東山クリーンセンター）

不公平感をもつ制度ではないか

髙山祐一

質問　**空き家の店舗等活用事業補助金制度の目的は。**

町長　活気とにぎわいのある地域づくりの推進である。平成18年当時、全国各地でシャッター通りができた。これを何とかしようと、商店街の再生が始まった。

質問　**既存店舗の改修には、全額自己資金か借入金により、改築改修をしなければならないが、新規の方がこの制度を活用すれば費用の10分の4まで250万円を限度に補助してもらえる。今まで税金も払い、商売をしてきたものとすれば不公平感をもつのではないか。**

町長　あれから10年経過したので移住定住の関係などを含め、社会情勢にあった内容に改善していきたい。

夜間瀬川の景観について

質問　**現状認識と感想は。**

町長　夜間瀬川は貴重な観光資源であるが、支障木などの繁茂が進んでいる。視察を通じ改めて治水対策上も重要との認識を強めた。

質問　**夜間瀬川をきれいにする会が発足したが、町との関係は。**

建設水道課長　きれいにする会は、民間主導なので町は広報、募集、保険をかけるなどの事務的支援をする。

質問　**星川橋上流のいわゆる「親水公園」の管理者はだれか、その決定経緯は。**

町長　町は県からのものを、穂波温泉区に管理を委託した記憶はあるが定かでない。

質問　**当該区長は、草刈り泥あげなどの整備をすることはやぶさかではないとのこと。改めて管理や整備費用などの契約なり取り決めをすることを求めるが。**

建設水道課長　過去の経緯はともかく、今後検討する。

小川周辺整備で大勢の人々が集えるような「親水公園」に

耐震改修補助金の交付要綱改正を

児玉信治

質問　**避難所の耐震診断の状況は。**

建設水道課長　25年度より計画的に実施しており、本年度、横倉公会堂を実施し、来年度、本郷区民会館をもって終了となる。

質問　**診断の結果と改修費用はどのぐらいか。**

建設水道課長　5か所とも耐震改修が必要との診断。改修経費は概算で、戸狩公会堂は2，800万円、苗間生活改善センターは600万円、宇木区民会館は4，735万円、下須賀川生活改善センターは1，690万円、横倉集会所は5，330万円。

質問　**町の耐震改修促進補助金交付要綱での補助金はいくらか。**

建設水道課長　補助金の上限は100万円。

質問　**須坂市では、改修費が3，000万円のときの補助金は1，576万円、限度額は3分の2、中野市では800万円である。当町の補助要綱の見直しができないか。**

町長　現状では適正な金額と思うが、避難所であるので、地域の皆さんの負担が軽減できるよう、町の財政状況、他市町村の状況を踏まえながら、必要によって改正も含めて対応していく。

質問　**地球環境負荷低減にともなう新冷媒への転換に助成措置ができないか。**

町長　JAの懇談会でも協議したが、現在のところ該当する補助事業はない。今後、国や県、近隣市町村の状況も確認しながら、対応を検討していく。

その他の質問

○最低賃金決定までのプロセスについて

東日本M7.4 一時1.4万人避難
福島震度5弱 仙台で津波1.4メートル

全国各地で頻繁に起きる地震

みなさんからの請願・陳情

第３回定例会で継続審査となっていた陳情１件を審議しました。

受理番号	件　　名	陳　情　者	採決結果
第７号	（陳情第７号） 義務教育費国庫負担制度の堅持を求める陳情書（平成28年９月５日付託のもの）	山ノ内町教職員組合 執行委員長　大塚　伸司	採　択 意見書提出

第７号の審議経過

第３回定例会では陳情内容について、より詳細な聞き取りが必要との判断から継続審査としました。

今議会までの間、陳情者から直接説明を受けたほか担当課にも状況を確認するなど審査を行い、本会議では全会一致で採択としました。

管外視察報告

学ぶべきもの

総務産業常任委員会

11月15、16日と管外の4カ所視察研修を行いました。

長岡市 和島トゥー・ル・モンド

北小学校閉校後の後利用の検討を目的として、長岡市の廃校後の小学校を利用した施設を見てきました。経緯やその後の運営についてお話を伺いました。

施設概要

旧島田小学校のリノベーションした複合施設。主な施設として、

・本格フレンチレストラン「バーグ」
・教室をセミナールーム、カルチャー教室などに利用
・セレクトショップ
・ギャラリースペース
・パン工房「アルモニエ」を運営。

フレンチレストラン、パン工房などを運営していると同時に、就労継続支援A型※1の施設を兼ねています。スタッフは全部で44名、うち障がい者は26名が従事しているとのことです。

福祉作業所では通常月17,000円程度の給料に対し、ここでは月8万円程度です。

築100年という木造校舎をうまく活用して、教室もセミナールームとしたり、エントランスなどもおしゃれに作ってありました。

廃校施設をおしゃれにリニューアル

燕市 空き家対策の取り組み

燕市は平成24年から空き家・空き地バンクを設置し、法令についても平成26年の空家対策特措法が可決される以前の平成25年から「空き家の適正管理とまちなか居住を推進する条例」を制定して、力を入れていました。旧市街地が空いてきてしまうという流れの中で、単なる空き家の適正管理だけでなく、旧市街地への移住を促進しているところが、燕市の法令の特徴でした。また、特定空家等除去事業も燕市独自で行っています。

湯沢町 雪国観光圏 広域連携とDMO※2

観光圏整備は全国で13カ所があり、雪国観光圏は最初に認定された観光圏。新潟、群馬、長野にまたがる、3市3町1村で構成されています。

きっかけは、2016年問題として、東北新幹線と北陸新幹線の開通で、上越新幹線の利用が減ると予想される危機感があり、周辺市町村が共通の目標を持って動けたということが、観光圏を作る原動力でした。

湯沢町での雪国観光圏の説明

主な活動

・観光地域づくり人材研修
・商品造成としてツアーづくり
・旅館ホテルの品質認証制度の導入
・雪国A級グルメ
・フリーペーパーの発行
・全国の観光圏と連携し共同PR

運営をしてきて、ポイントとなることは、あくまでも「観光地域づくり」という共通概念を持つこと、そして人材育成や情報共有は行政側が担い、商品造成、品質管理、プロモーションは民間側が引き受けるという明確な役割分担が大事だということでした。DMO代表理事の井口氏から観光圏立ち上げの苦労とDMOへの思いの強さが伝わりました。

南魚沼市 魚沼の里 雪室貯蔵施設

お酒の「八海山」の保存施設として、雪約1,000トン集めた雪室を作り、その冷気のみで保存しています。雪室そのものを見学させるだけでなく観光商業施設としても活用しています。

雪室で貯蔵されているお酒

※1 **就労継続支援A型**…障がい者が雇用契約に基づき、継続的に就労することが可能な施設（利用開始時65歳未満の者）。

※2 **DMO**…「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、関係者と協議しながら、観光地づくりを実現するための法人。

常任委員会
先進事例から

社会文教常任委員会

11月17、18日に小中一貫教育を実施している学校3カ所、信州型自然保育を実践する保育所を1カ所視察しました。

福島県郡山市 湖南小学校・湖南中学校

平成17年に5小学校が統合して湖南小学校となり湖南中学校とひとつの校舎で学んでいます。共通の校長1名、小学校と中学校に各々の教頭が1名ずつです。現在、児童数は小学校で117名（教諭7、普通学級6、特別支援学級1）です。中学校は生徒数69名（教諭6、講師2、3学級）となっています。

小学校、中学校の教諭はともに兼務の辞令が出されています。

教育目標は①表現力の醸成②学力の育成③英語力の練成です。目指す児童像は「ともに生き　未来を創る　たくましい湖南の子」としています。

学級担任と教科担任の利点・課題を確認しながら小学校より社会、数学、理科、英語、音楽、体育についてゆるやかな教科担任制を導入しています。外国人教師による英語教育は小1から中3まで行っています。

広い音楽教室

小中の教育活動の一体性確保のために各種の学校行事を合同で行っています。入学式、避難訓練、運動会、壮行会、文化祭などです。また、職員室、多目的ホール、図書室、郷土学習室、音楽室、理科室などを共有化することで小中生相互に好影響が出てきています。

語り部の部屋

印象に残ったことは郷土愛を大切にする姿勢です。郷土学習室には、旧5小学校の懐かしい資料展示があります。また、畳敷きの語り部の部屋では土地の人による民話の伝承が行われています。覚えた方言による民話の発表会があるそうです。児童生徒の9割はバス通学です。乗合の路線バスを郡山市が提供しています。

長野県佐久穂町 「森のようちえん ちいろば」

豊かな自然や地域資源を積極的に取り入れた保育の普及で子育て先進県長野を実現することが信州型自然保育の考え方です。「ちいろば」ではその実践として自然との共生をモットーに自然体験活動を主軸とする保育に取り組んでいます。

朝の発表、話し合い、歌の後で戸外に出ます。ナイフの使い方や火起こし、木製バターナイフを作るなどの活動他、畑や田の管理、収穫を行い収穫物を食べることで自然界の循環を学び、生活の疑似体験をします。知識より体験重視・五感の活用を大切にします。

運営は園長、副園長以外にスタッフ2名、アルバイト1名。また園児数は16名です。

自然の森の中での保育活動

その他の視察場所
佐久穂町
　佐久穂小中学校
福島県
　松枝岐（ひのえまた）小中学校

管外視察報告

議会運営委員会

町議会活性化（改革）のために、現在検討している項目の中から、インターネット中継、通年議会、タブレット端末の導入を中心に先進的な取り組みをしている新潟県の上越市、柏崎市、阿賀町の3市町議会にうかがい、その取り組みをお聞きしました。

阿賀町で説明をうける

上越市議会

1　インターネット中継

透明性を高め開かれた議会を目指すため、18年6月より本会議の中継を開始、26年6月より委員会の中継も開始しました。近年のアクセス数は

24年度　17，970件
25年度　15，698件
26年度　33，721件
27年度　33，489件

26年度からの伸びは、同年5月より携帯端末機からの視聴を可能にしたためです。

2　その他

・議会広報広聴特別委員会による議会報告会、意見交換会の対応など

柏崎市議会

1　タブレット端末の導入と運用

議会改革の一環としてＩＣＴを活用し、効率的な議会運営を行うため、タブレット端末を導入し、ペーパーレス化によるコスト削減、事務の効率化や情報の共有などをはかっています。

2　通年議会

25年5月1日から通年会期制を採用。一度招集された会期は自動的に会期が始まり、4年間継続します。

従来の定例会に準じ、年4回の定例会議と、それ以外に開く随時会議を設けています。

3　インターネット中継

19年9月より本会議の中継を開始し、25年6月から委員会のインターネット中継を開始しています。

4　その他

・議会が災害時にどのように対応するかを定めた災害時対応マニュアル及び行動マニュアルの策定について
・災害対策本部設置要綱の策定についてなど

阿賀町議会

1　通年議会

27年5月1日から通年議会を採用しました。

導入理由として、会期を1年とすることで主体的で効果的な議会運営が可能となり、議会および委員会活動が充実し、さらなる活性化がはかられるとしています。

柏崎市議会と同様、年4回の定例会議を設けていますが、日程を条例で定めているのが特徴です。

ただし、毎年見直しは行うそうです。

2　その他

・年間スケジュールの作成と活用
・各種計画等の一覧表と議決案件の追加についてなど

議会全員協議会

第16回（9月27日）

(1)　執行機関からの提出案件
①東京オリンピック・パラリンピック競技大会ホストタウンについて
②公共下水道処理場へのし尿投入について
議会からの提出案件
議会委員会条例の一部改正について

(2)

第17回（9月29日）

(1)　議会からの提出案件
①長野県特別豪雪地帯指定市町村議会の提出議題検討について
②活性化のための提言・要望について
③第30回北信地域議会議員親善球技大会について
④議会傍聴規則の一部改正について

第18回（10月27日）

(1)　議会からの提出案件
①活性化のための提言・要望について
②議会報告会について

第19回（11月24日）

(1)　執行機関からの提出案件
①人事院勧告に係る給与改正条例について
②岳南広域消防議会説明事項について
③水道料金並びに下水道使用料及び農業集落排水事業使用料の改定について
議会からの提出案件

(2)
①議会の議員の期末手当に関する条例の一部改正について
②地方議員の年金制度への加入を求める意見書について
③議会報告会について
④活性化のための提言・要望について

第20回（12月7日）

(1)　執行機関からの提出案件
①実施計画（平成29年度～平成31年度）について
②第5次総合計画後期基本計画数値目標の達成状況について
③山ノ内町まち・ひと・しごと総合戦略の進行管理及び改訂について
④統合小学校建設に係わる基礎調査報告について

みんなのひろば

東京を中心に数十店が加盟する「丸長のれん会」。ラーメン店ののれん会としては日本最古です。会員の地位向上、相互扶助や親睦を目的とする互助組織です。町の平和観音再建時には多額の寄附をされ、現在は町のふるさと納税の返礼品にもご協力いただいています。

今回は、「丸長のれん会」の歴史と山ノ内町との関係について会長の坂口光男さんにご寄稿いただきました。

東京ラーメンを築いた 山ノ内町出身の蕎麦職人達

「丸長のれん会」会長　坂口　光男

中華スープに鰹ダシ 一躍人気ラーメン店に

終戦直後、焼け野原の東京で青木家の3兄弟（勝治氏、保一氏、甲七郎氏）が再会して「丸長」の物語は始まります。昭和22年荻窪「丸長中華そば」を開業。青木勝治氏が戦前から小岩で蕎麦屋を営んでいたこと、統制経済で小麦粉が配給されていたこともあり、丼ひとつで営業できる中華そば屋になったのは必然だったかもしれません。豚、鶏のガラでつくる中華スープに日本蕎麦伝統の鰹ダシを加えることで、瞬く間に人気店に。翌年に同じ山ノ内町出身の山上信成氏、私の父である坂口正安が加わり、各々「丸長」、「栄龍軒」、「丸信」、「大勝軒」に分離。その後は山岸一雄ほか血縁のある若者達が上京し各店で修業、独立。昭和34年「丸長のれん会」を発足します。初代会長は青木勝治氏。故郷山ノ内への思いを胸に一枚岩の結束は固く、高度経済成長と共に昭和60年の会員数は70名に拡大し、永年地縁の輪を築いてきました。

東京ラーメン・つけ麺の歴史は「丸長」の歴史

「丸長」の歴史は東京のラーメン、つけ麺文化そのものの歴史でもあります。昭和30年当時は東京中野「大勝軒」だけのメニューだった「つけそば」は、後続の店主らの努力で美味さと珍しさが世間に認知され、主役のラーメンを凌駕（りょうが）する勢いで発展。小麦粉香る太麺に、深い旨味のスープと具材をからめる至福の瞬間は多くのお客様に支持され、日本全国につけ麺という商品が浸透することとなりました。

ありし日の山岸一雄氏とともに（左が筆者）

伝統を大切に新たな繁栄をめざして

栄枯盛衰は世の習いで近年は嗜好の変化、人手不足、同業他社との競合など商売は以前に比べて厳しい環境となりました。後継者問題もあり廃業する店舗も増えています。しかし「丸長」の志、来店する目の前のお客様に喜んでもらうために全力でサービスし、個性あるラーメン創りを追求することを若い世代にしっかりと受け継いでもらえれば未来は明るいでしょう。

「丸長」発足から半世紀経た今、店舗だけの繋がりの垣根を超えて応援してくださる多くの顧客、協力商社、メーカーを含めて、支えて下さる方々と一緒に繁栄することができればこれに勝る喜びはありません。

「淡々と細く長く麺に似て睦（むつ）重る丸長の会」　正安

昨年の「丸長のれん会」新年賀詞交歓会

プロフィール
坂口光男
㈱大華物産代表取締役
東京中野「大勝軒」店主
丸長のれん会会長（第８代）
１９５５年東京生まれ

編集後記

今年は酉年。私は年男でいよいよ還暦を迎えることになる。中学1年の時、洋楽に目覚め、エルトン・ジョンの『60歳のとき』という曲に魅かれた。戦争で体にも心にも大きな傷を負った男の話だ。「60歳まで生きていることなどちっとも望みやしなかった」と哀愁を帯びた声で歌う。その頃、漠然と人生は60年と思っていた。ところが今や日本人の平均寿命は83・7歳（２０１６年版の「世界保健統計」）で、20年以上長寿世界一の座を守り続けている。新年早々の5日、日本老年学会が「高齢者は75歳以上」とする新定義を提案した。年金受給年齢引き上げにお墨付きを与えたようなものだ。これからは「老後」や「余生」の概念も大きく変わるかもしれない。私が「高齢者」と呼ばれるのはまだまだ先のことになった。でも、世界には平均寿命が75歳以上の国は69か国しかない。達しない国は１１０か国以上もある。

（渡辺正男　記）